

西暦 2025年12月04日作成

研究に関する情報公開について

下記の研究は、福岡大学人を対象とする研究倫理審査委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。
インフォームド・コンセントを受けない場合において、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第4章 第8.1に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	重度の強迫症に対する脳深部刺激療法に関する日本国内の精神科医の認識調査
研究期間	病院長の許可日 ～ 西暦 2027年03月31日
研究責任者	脳神経外科 講師 森下 登史
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> ：新たな情報を取得する場合 病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日 <input checked="" type="checkbox"/> ：既存試料・情報を利用する場合 ■後向き期間：西暦 2025年02月06日 ～ 西暦 2025年02月15日 <input type="checkbox"/> 前向き期間：病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日
研究対象者	日本精神神経学会認定の精神科専門医を対象とし、臨床現場で精神科診療に従事している医師を含む。
研究の意義と目的	薬やカウンセリングが効きにくい強迫症の新しい治療法として、脳に電気刺激を与える「脳深部刺激療法（DBS）」が海外で注目されています。日本ではまだ導入されていないため、本研究では精神科医がこの治療法をどう考えているかを調査しました。結果は、今後DBSを日本で導入する際の制度づくりや、安全・安心な治療体制づくりに役立ちます。
研究の方法	日本全国の精神科の先生達にインターネットを使ったアンケート調査を行いました。質問は全部で10問あり、「治りにくい強迫症」に対して、脳深部刺激療法（DBS）がどれくらい必要だと感じているか、安全性や倫理的な不安があるか、将来使えるようになると思うか、などを聞きました。調査は、医師向けの専門サイト（m3.com）を通じて実施され、インターネット上で同意（了解）を得た上で回答してもらいました。回答はすべて匿名で集められ、個人が特定されることは一切ありません。集まったデータを集計し、統計学的に分析して、どのような要因がDBSに対する考え方に影響しているのかを調べます。
研究に用いる試料・情報	アンケート結果
試料・情報の提供先	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 提供先の研究機関名：福岡大学病院 提供先の研究責任者：脳神経外科 森下登史 提供する試料・情報：福岡大学脳神経外科の森下と国立精神・神経医療研究センター脳神経外科の岩崎が精神科医を対象としたDBSの需要を明らかにするための市場調査結果
試料・情報の提供元	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 提供元の研究機関名：国立精神・神経医療研究センター 提供元の研究機関の長：中込和幸

	<p>研究責任者又は提供のみを行う者：脳神経外科 岩崎真樹</p> <p>取得の経緯：m3.com のサービスを利用したアンケート（市場）調査</p> <p>取得する試料・情報：福岡大学脳神経外科の森下と国立精神・神経医療研究センター脳神経外科の岩崎が精神科医を対象としたDBSの需要を明らかにするための市場調査結果</p>
情報管理責任者又は名称	代表機関名：福岡大学病院
研究のための試料・情報を利用する者	<p>本学：人を対象とする研究倫理審査委員会で承認され病院長から許可された研究者</p> <p>他施設：各施設の倫理委員会で承認され研究機関の長から許可された研究者</p>
個人情報の保護	収集した情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくすること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方（患者さん自身がすでに亡くなられている場合にはそのご家族）は下記の問い合わせ先へご連絡ください。患者さんの情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究への情報の利用を断っても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
問い合わせ先	<p>所属：福岡大学病院</p> <p>担当者名：森下 登史</p> <p>電話番号：092-801-1011</p> <p>対応可能日及び時間：月曜日から金曜日の平日の 9:00～17:00</p>